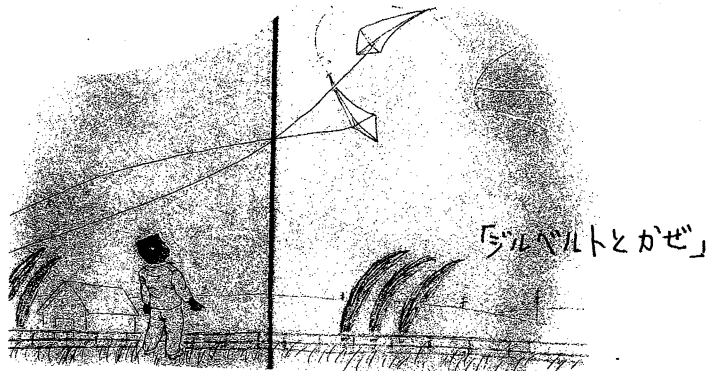


12月の園便り



25年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

卒園児さんの保護者の方からのお話第2弾「青陵幼稚園の卒園児さんは、高学年になると自分でやりたいことを始めるのですよ、いろんな事、いろいろな役割に積極的に手を挙げるのです。意欲的なんです。」そして、付け加えて言われた言葉「他の子どもたちは、手を挙げることは少なくて、先生にこれをやれと言われると、“はい”とやってやるのですが、自分でやりたいとやるのではなくて、言われればやるというのが多いですよ」・・・というお話をお聞きしました。もちろんいろいろな個性があり、ご家庭での教育方針等の違いもありますので、すべての卒園児さんがこのようになるということではないのですが、幼稚園とご家庭の方針が同じになっていた場合は、このような姿が見られるのだらうと思います。高学年になって、「自分がやりたいことを目指して、自ら行動し取り組む」こういう姿になるために、幼児期のうちに育てておかなければならないことは、自分に対する自信、人への信頼、意欲、自発性、安定した情緒・・・等々です。これらの事柄は、字が書ける、計算ができるなどといった目に見えるものではないため、幼稚園の教育に疑問や不安を持たれることもあるようです。しかし、実は学校で一番重要なのが、この目に見えない力なのです。目に見える力は、小学校入学後、しばらくすると違いがなくなってしまうものです。違いがなくなるといふより、意欲の部分が育っていない場合は、むしろ大変だと思います。

10月の園便りで、保育者は「子どもたちが自分で自分を変えよう、高めようとしていく」のを待っている、忍耐と知恵と努力をもって・・・」と書きました。忍耐と知恵と努力について少し説明をさせていただきます。忍耐は文字通り「ここで声をかけるのはやめよう、子どもが自分で動き出かもしれないからと、多少ハラハラドキドキしながら見守って待つ、自分で自分を変えていく過程を信じて待つ」ということ、知恵というのは「この子が自分で今こう思ってこの行動をしているのではないかと推測して対応してみる、あるいは、これでだめならこういう方法に変えてやってみよう、それでもだめなら、別な方法で…時には押してみても・・・といろいろな方法を試しながら、一人ひとりに合った“ジャストミート”の方法を探していく」ということです。そして、努力というのは「ジャストミートの方法を探すということを怠らずに続けていく」ということになります。子どもたちが多少の困難があっても自分で乗り越えようとする力、自分で生きていく力を育てている本園の教育です。

私たちは、子どもたち一人一人が、保育者に愛されて安定した情緒のもと、保育者を信頼し、意欲をもって物事に取り組み、自信をもって自分で遊びを選び、創造して、工夫発見し、いろいろな友だちと積極的にかかわり、自発的に生活することができるようにと願いをもって、保育の取り組みを続けてまいりたいと存じます。

25年12月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	日	/	/		
2	月	○	2:00		
3	火	○	2:00		
4	水	○	2:00		
5	木	○	2:00		
6	金	○	2:00		
7	土	×	11:30	自由登園日	
8	日	/	/		
9	月	○	2:00		
10	火	○	2:00		
11	水	×	11:30	誕生会です。12月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。	
12	木	○	2:00		
13	金	○	2:00	青陵高校の生徒さんが体験にきます。	
14	土	/	/		
15	日	/	/		
16	月	○	2:00		
17	火	○	2:00		
18	水	○	2:00		
19	木	○	2:00	給食最終日です。	
20	金	×	11:30	第2学期終業式です。	
21	土	×		アドヴェントの庭を行います。詳細につきましては後日お便りを差し上げます。	
22	日	/	/		
23	月	/	/	天皇誕生日	
24	火	/	/	冬休み 星の子は行います	
25	水	/	/	冬休み 星の子は行います	
26	木	/	/	冬休み 星の子は行います	
27	金	/	/	冬休み 星の子は行います	
28	土	/	/	冬季休業	
29	日	/	/	冬季休業	
30	月	/	/	冬季休業	
31	火	/	/	冬季休業	